



おおぞらだより

第11号
平成25年 5月 31日発行
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
おおぞらのいえ
〒651-2181
神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727 (代)
FAX (078) 925-9253



子ども達の作品です☆

野や山の若葉、青葉をわたる風も心地よく感じられ、木々の緑が鮮やかな季節となりました。

はじめまして。平成25年4月1日付で着任しました「おおぞらのいえ所長 謝 世業」と申します。よろしくお願ひします。

さて、障害児入所施設「おおぞらのいえ」は、兵庫県が総合リハビリテーションセンターの機能を活用して、新たな小児リハビリに取り組むため、小児リハ病棟、おおぞらのいえ、兵庫県立のじぎく特別支援学校分教室（おおぞら分教室）を一体的に整備し、平成20年4月1日に開設されました。このような素晴らしい環境に囲まれ、児童の日常生活および社会的な自立をめざし、児童の成長発達に応じた一人ひとりのニーズに基づいた自己実現に向けて、取り組んでいます。

また併設ののじぎく支援学校おおぞら分教室・地域の学校等での就学・就園、社会的自立に向けたさまざまな体験、そして地域移行に向けた個別支援等、可能性の追求は、児童一人ひとりの新たな発見につながっています。

次に児童発達支援事業では、就学前の障害児を対象に、日常生活活動の習得や集団生活への適応に必要な療育を実施し、個別支援計画に基づいた（集団訓練・個別訓練）に取り組んでいます。母子分離や集団生活への適応性を身につけ、地域の小学校や幼稚園等への就学・就園へのニーズに応えられるよう取り組んでいきます。また今年度より新たに修了児童のフォローアップ体制についても検討を始めていきます。その他、日中一時支援等、きめ細やかなサービスにも努めています。すばらしい環境の中に囲まれたおおぞらのいえでは、16名の児童が生活され、短期入所利用には34名の方が契約され、また児童発達支援事業には、19名の利用に加え、4月からは、5名の児童の利用が開始されています。

児童一人ひとりのキラキラと輝き、そして笑顔に満ち溢れているパワーをいただきながら、お子様お一人おひとりの「心を育む」という願いをもとに、安全で、安心なすばらしい施設づくりを、職員一同、力をあわせて取り組んでまいりますので、今後ともご理解、ご協力をお願いします。



ご挨拶

障害児入所施設 おおぞらのいえ

所長 謝 世業

『入学式』

支援員 石美 樹梨

4月9日、のじぎく特別支援学校おおぞら分教室の入学式がありました。

今年は、幼稚部に1名、中学部に2名が入学しました。

いつもよりおしゃれをして、ピシッとスースを着こなし式に臨みました。

毎朝登校するお兄さん、お姉さんを見送っていた未就学児さんも、一步踏み出し幼稚部に！

中学部のお姉さん2人は、小学部の頃よりお姉さんに新しい科目が増えることを嬉しそうに話していました。

それぞれ、夢と希望とを胸いっぱいに学校生活をスタートしました。どんな学校生活になるのか楽しみですね!!



『いちご狩り』

支援員 熊原 知子

おおぞらのいえでは、毎年春の遠足を行っています。

今回は三木市にある農園にイチゴ狩りに行きました。ほとんどの子どもが初めてのイチゴ狩りで「どんな所だろ?」とわくわくしていました。いちご農園に到着して、いちご狩りを始めると「これ赤いから美味しいやで。」等と自分で美味しいいちごを探していました。カップいっぱいにいちごをつみ取り、頑張っていました。いちごに練乳やチョコレートをつけて食べたり、バーキング形式の惣菜パンやアイスクリームを食べ、みんな満腹になっていました。帰りの車中では「おいしかった。また行きたい。」と大満足の様子でした。次回の外出活動も、心に残る場所に行けるよう子ども達と相談しながら考えていきたいです。



『未来に向かって』

支援員 中尾 有里佳

平成25年3月22日（金）、おおぞらのいえ児童発達支援事業所では、退所式が執り行われました。4月に就学・就園する児童と、先輩達を見送る在籍児童、計12名が出席しました。名前を呼ばると「はい。」と返事をして前に出て、証書を貰う姿はとても凛々しかったです。お母さんと別れるのが不安でいっぱい泣いた日、緊張でお茶も飲めなかつた日、気持ちが落ち着かず椅子に座れなかつた日。振り返ると、様々なことに挑戦し、乗り越え、大きく成長しました。保護者の皆様が「おかえり。」と温かく出迎えて下さったことや、おいしいお弁当が大きな力になつたと思います。この4月からは小学校、幼稚園と新たな一步を踏み出しました。新しい環境に戸惑うこともあると思いますが、おおぞらのいえでお友達と過ごした日々を力に変えて、のびのびと楽しんで欲しいと思います。

年度が変わって4月19日（金）には入所式を行いました。いつもと違う服に、違う環境、緊張して気持ちが落ち着かない様子のお友達もいました。でも、『入所式』の看板の前で記念写真を撮る時には、みなさんとても良い表情をしていました。これから始まる新しいメンバーでのおおぞらのいえ。お友達と刺激し合つて、一人ひとりのペースで進んでいけるよう、職員一丸となつてサポートしていきたいと思います。



スタッフしようかい

4月になり、新たなメンバーが加わりましたので、紹介いたします。
気分新たに、職員一同、力を合わせて頑張ります。



2階支援員



初めまして西山枝里です。慣れないおでこ迷惑をおかけするかも知れませんが、精一杯頑張るのでよろしくお願ひします。

西山
枝里



課長



谷川
久美子



子ども達の将来を見据えた取り組みを行い、おおぞらの彼方に笑い声が届きそうな明るく開放的な施設を目指したいと思います。私自身も子どもたちと同様に日々の積み重ねを大切にして頑張りたいと思います。

児童発達支援事業所 支援員（保育士）



石本
梨沙



日々、この職業のやりがいや奥深さを感じながら働かせていただいている。一生懸命、頑張りますので、よろしくお願い致します。



柴田
愛美

小学一年生と年中の児の母をしております。子育ての相談等、何でも気軽に声を掛けて下さい。よろしくお願い致します。

編集後記

子どもたちの明るい笑い声や笑顔に私が元気をもりこなす。毎日元気で子ども達と過ごせるように頑張ります。



看護師



佐野
比佐子

植田
智弘

おおぞらのいえは、子ども達の元気と笑顔で満ち溢れています。何でも気軽に話してから元気で頑張りますので宜しくお願い致します。

行保
友代

おおぞらのいえでは新しい事に取り組み、様々な経験ができるよう支援しています。おおぞらだよりを通して、多くの方々に知って頂ければと思っております。次回のおおぞらだよりは1月頃を予定しています。その頃にはまた、成長した子供達の姿を伝えられればと思います。努力して参りますので、次回の「おおぞらだより」もお楽しみにお待ち下さい。

